

第2回足立区ギャラクシティ運営評価委員会議事録

会 議 名	第2回足立区ギャラクシティ運営評価委員会		
事 務 局	地域のちから推進部地域文化課 地域文化課文化施設経理係 地域文化課文化施設選定・評価係	課長 濱田 良光 係長 吉野 義浩 係員 上田 耕平 係員 枝川 彩子 係員 池田 重満 係員 吉澤 和史	
開催年月日	令和元年8月1日（木）		
開催時間	午後2時～4時30分		
開催場所	ギャラクシティ レクリエーションホール1		
出席者	宮田 隆志 委員 （東京大学大学院 理学系研究科教授）	渡辺 千歳 委員 （東京未来大学 こども心理学部教授）	伊志嶺 絵里子 委員 （東京藝術大学音楽学部 非常勤講師）
	酒井 雅男 委員 （銀座ヒラソル法律事 務所 弁護士）	北村 雅文 （足立区立小学校PTA 連合会副会長）	
欠席者	四宮 淳司 委員 （足立区少年団体連合 協議会副会長）		
会議次第	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 資料確認 4 指定管理者ヒアリング 5 意見交換 6 評価点確定 7 総括 8 事務連絡		
資 料	資料1 次第 資料2 ギャラクシティ運営評価委員会の活動目的 資料3 平成30年度こども未来創造館・西新井文化ホール業務評価シート（事前配付済）		

	<p>資料4 平成30年度こども未来創造館・西新井文化ホールチェックシート（事前配付済）</p> <p>資料5 基本協定書、年度協定書（事前配付済）</p> <p>資料6 年間事業計画（事前配付済）</p> <p>資料7 利用者アンケート結果（事前配付済）</p> <p>資料8 タイムスケジュール</p> <p>資料9 点数記入シート</p>
<p>そ の 他</p>	

## 様式第2号（第3条関係）

### （審議経過）

#### 【開会事前説明】

〈吉野係長〉今日は暑い中、お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成30年度運営にかかる、第2回ギャラクシティ運営評価委員会の事前説明をさせていただきます。開会に先立ち、昨日7月31日の第1回委員会開催時に委員の皆様からいただきましたご意見について、少し振り返ってみたいと思います。

- ・指定管理者の運営の不安定さ
- ・ホール事業についてビジョンを持つべきではないか
- ・安全管理
- ・参加者の実態がつかめていない
- ・アンケートの重要性

などについてご意見が出されました。

続きまして安全管理につきまして、ご説明いたします。

#### 【安全管理についてご説明】

〈吉野係長〉それでは開会に先立ちまして、宮田委員長からご挨拶をお願いいたします。

#### 【委員長あいさつ】

〈宮田委員〉2日目となり、評価点を決めていかなければいけません。昨日明らかにできなかったことも含めて議論していければと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

〈吉野係長〉それでは、ここからの進行は宮田委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

#### 【開会】

〈宮田委員〉ただいまから、ギャラクシティ

の平成30年度運営にかかる第2回運営評価委員会を開会いたします。

本日は委員数6名のうち、出席者5名、欠席者1名となっております。

早速ではございますが、議事進行に移ります。まずは本日の資料について、事務局から説明をお願いいたします。

#### 【資料確認】

〈事務局〉それでは資料の確認をさせていただきます。机上に本日の次第および資料を配布しております。資料については昨日と同様の内容となります。

- ・第2回次第
- ・資料（1）～（5）昨日同様
- ・タイムスケジュール修正版

もし、お手元がないものがございましたら、挙手にて事務局にお知らせください。本委員会は公開となりますので、傍聴人が入室する場合がございます。以上で事務局からの説明を終わります。

#### 【指定管理者ヒアリング】

〈宮田委員〉ありがとうございます。それでは、指定管理者のヒアリングを行います。本日のヒアリングでは、昨日のヒアリング時から追加の質疑や意見交換の際に出た疑問点などをさらに詳しく聴取できればと思います。参考に昨日ヒアリング時に出たものとしては

- ・収支について
- ・指定管理者アンケートの内容
- ・ホールについての減点項目、未達成の原因
- ・安全管理について

があったと思います。他の点についての質問もかまいません。

【指定管理者入室】

〈宮田委員〉昨日に引き続きヒアリング、質問をさせていただければと思います。

〈北村委員〉安定的な経営を行っているという項目について、収支がマイナス約8,000万円とありますが、前年度の収支の比較はどうなっていますでしょうか。

〈田中総務部長〉前事業者との詳細な比較データは持っていませんが、私たちの分析では、1つ目は事業関係の費用の見立てが違っていました。2つ目は維持管理についてですが、実際運営してみて、駐車場の警備に関してはかなり複雑な運用で、通常に積算したものとコストの見立てが変わってしまったところがあります。

〈北村委員〉次年度以降はどうでしょうか。

〈田中総務部長〉事業に関して、常設部分のところでお客さんがたくさん来ます。定員制の講座を精査していきます。維持管理に関して、一部前事業者から引き継いだ部分があるので、内容も含めて精査していき反映していきたいと思います。

〈伊志嶺委員〉西新井文化ホールの区民応援型事業の項目、減点された原因について、計画通りいかなかった理由は何でしょうか。

〈村田館長〉ホールの設定日が年間で決められていまして、予定していた2本が入りませんでした。その2本というのは足立区出身の声優さんの朗読コンサートを予定していましたが、設定日と都合が合わなくなりましたものです。もう1本はミュージカル作品を

区民公募で作るというものを提案していましたが、劇団四季ご出身の方と以前からつながりがあり、作ろうと企画していましたが、こちらも設定日と都合が合いませんでした。今年の12月8日に、まずはまるちたいけんドームを使って、レビューショーをはじめ、来年の春休みから公募してやろうと思います。出演者とホールの設定日が合わなかったことが原因だと思っています。

〈伊志嶺委員〉今のご説明が、1点、減点になってしまった原因であるという解釈でよろしいでしょうか。その他の要因もあるのではないのでしょうか。あるいは、事業数が満たなかったということが大きく響いたのでしょうか。

〈村田館長〉エンターテインメント事業を優先してしまった関係で、区民応援型事業が達成できませんでした。

〈酒井委員〉5ヵ年計画についての質問です。開発事業についてですが、デジタルコンテンツの開発が2018年度に2種開発する但实际上は0種となってしまった理由を知りたいのですが。また、その結果を受けて2019年度の2種というものは達成できますか。

大人体験事業の平日クライミングウォール事業が0名となっていますが、2019年度以降の計画をどのように達成していきますか。大人まるちたいけんドーム活用とありますが、これはどういう趣旨なのか、ご説明いただければと思います。

〈村田館長〉デジタルコンテンツに関しては、新しく取り入れたり、改修したりすると費用的に数百万円かかり厳しいため、他の事

業を優先しました。業者を呼び、ギャラクシティに合うようなものを見積もりを取りましたが、厳しいものでした。今年度はリースもしくは買い取りを含めて検討しています。

他の施設を見学して思ったことは、足立区の子どもは投てきが苦手ということです。ボールプールを使ったコンテンツは集客力もよく、回転率が良いのではないかと思います。業者と交渉中ではありますが、いつからやるかまだ検討中です。平日のクライミングウォールに関して達成できなかった理由は、人的に不足していたことです。通常の遊具施設を優先してしまった結果です。それに伴い、平日のクライミングの講座をテーマに仕様書では組み込まれていたのですが、これも同じくできませんでした。昨年度の11月から、インストラクターを呼び、子供向けと大人向けの講座を開始しております。今年度に関しても4月から継続実施しております。

また、平日クライミングウォールに関しては、水、木、金曜日の週3回始めております。

〈酒井委員〉この計画にある必須事業と併用という部分が、実際どのように達成されているかについてのご説明をいただければと思います。

〈田部ディレクター〉必須事業と併用については、大人向けのイベントとしましては、相当回数行っていると思います。

〈村田館長〉必須事業と併用に関しては、プラネタリウム規定曜日の投影に関して未達だったことだと思います。生演奏など、大人まるちたいけんドームでのコンサートもやっていますが、そことうまく連携できなかったのではないかと思います。

〈酒井委員〉デジタルコンテンツの開発に関して、費用が数百万円かかるとおっしゃっていました。所有権を取得するのではなく、使用許諾的な形で利用できないかということです。今のままであると、この5ヵ年計画で大丈夫でしょうか。

〈田中総務部長〉1点補足よろしいでしょうか。ハード面に関しても懸案事項がございます。1つはコンテンツサーバーを動かしているOSの問題があります。2020年にWindows 7のサポートが切れるので、サーバーOSの切り替えがあります。ハードウェアに関しては、プロジェクションマッピングのメーカー保証が切れます。そこが懸案事項として入ってきます。そこも含めた上で、許諾なのか自ら開発先と連携して作るのかを検討していきたいと思います。

〈酒井委員〉検討していきたいとありますが、想定されていた事象ですから、決めなければ、先に進まないと思いますが、決められますか。

〈田中総務部長〉新しいコンテンツの購入を模索しています。

〈酒井委員〉購入は高いというお話でしたよね。既にあるデジタルコンテンツは多種多様だから、それにお金をかけるということですよ。もう開発はしないのですよね。

〈田中総務部長〉二次開発を考えています。既存のものをベースアップして提供していく方が主流になっていますので、そちらのほうがバリエーションが豊富で、良いのではないかと思います。

〈酒井委員〉新規のものではなくて、カスタマイズした拡張を使うということですね。

〈酒井委員〉クライミングウォールに関しては人員の問題があるというお話でした。人員の問題に関しては計画時にわかると思いますが、2019年度についてはどのように工夫して、達成できるようにしますか。或いは困難という判断でしょうか。

〈村田館長〉去年はできませんでした。放課後、週3回実施で、だいぶ浸透してきました。今後は全体を鑑みて、クライミングやボルダリングはオリンピックの競技でもありますので、週3回実施から更に日程を増やしていきたいと思えます。

〈宮田委員〉安全管理についてですが、館全体として、インシデントみたいなことはどれくらいあって、どういうふうに、統計を取って管理をしていますか。ヒヤリハットみたいなものも含めてお願いします。

〈村田館長〉日頃の安全管理に関しては、起きたことも含めて、全職員で共有しています。起きてしまったことは今後起きないように心がけています。内部研修だけでなく、外部研修も行っています。本社でも衛生管理、個人情報管理などトータル的に実施しています。内部においても総務チーム、こども体験チーム、文化ホール事業チーム、広報チームの4つのチームを組み、各セクションで月1回、業務だけではなく、危機管理についても共有しています。ケガが多く、傷病手当記録など毎回記録を取っています。クレーム共有シート、事故報告書、共有、回覧、朝礼において開示しております。

〈宮田委員〉ケガが多いとありましたが、1か月でどのくらい起きますか。

〈伊藤副館長〉夏休み期間や土日曜日になりますと、鼻血などのケガが1日2回くらい発生しております。その場合は救護室で手当をしております。今後は熱中症対策なども考えながら運営していきたいと思えます。

〈渡辺委員〉5カ年計画で、体験キット開発が0件ということですが、なぜでしょうか。

〈村田館長〉優先順位が下がってしまいました。去年の3月から考えていることですが、バトルブロックという玩具を障がい施設の方に作っていただいて、ショップで販売しています。体験キットとして置く計画をしています。去年は今までのものが人気だったから変えられずということで開発が0件になってしまいました。今年度は3種類5セットとあり現在はバトルブロックの1種類は決まっていますので今年度中にはあと2種類開発していきたいと思えます。

〈伊志嶺委員〉昨日説明していただいたコンセプトの中で、社会の変化ということで、最近外国人の方が増えていると思うのですが、外国人の方はギャラクシティをどのくらい利用されていますか。接遇などの工夫はされていますか。また、障がい者や社会的弱者と呼ばれている方々に配慮した企画などはありますか。

〈村田館長〉東南アジア系の方が中心ですが増えています。数人バイリンガルの職員を配置して対応していますが、まだまだ整っていないのが現状です。館内案内も英語版、中国語版、韓国語版に関しては作らせていただい

ています。パラリンピックもありますので、昨年障がい者スポーツを身近に体験できる企画として、ボッチャ体験、障がい者バスケット、障がい者バドミントンを企画し、実際に見るだけでなく、車椅子に乗って一緒に体験していただく企画を3回をやりました。今年もオリンピックの機運を高めるために、出場を目指している一流の選手を呼んで9月以降定期的に開催しております。今年9月に東京未来大学とまるちたいけんドームのコラボでバリアフリーコンサート公演を2回予定しています。これから募集する予定です。今後、オリパラが始まるにあたり、手荷物検査や災害対策コンサート、避難訓練コンサートの実施を考えています。

〈伊志嶺委員〉昨年、障がい者による文化芸術活動の推進に関する法律が施行されたのでこれから求められることがたくさんあると思います。公立の文化施設でも敏感に反応しているので、取り入れていかれると良いと思います。

〈村田館長〉e-sportsはまだオリンピック競技にはなってはいませんが、体格に関係なく子どもや健常者、障がい者、ひきこもりの方など誰でもできる要素があります。実際、今年の4月にホールで、小学生向け、中高生向けのe-sportsの大会を行いました。そういった意味でも障がい者の方に参加していただきたいと思います。近くにある支援センターや特別支援学校にも声掛けをして、興味を示していただいています。しかし、まだ参加までには至っていませんので、今後、周知を含めた活動に力を入れていきたいと思っております。

〈宮田委員〉指定管理者が変更したことによ

って、ステップアップ講座に関しては、どのような影響がありましたか。長いスパンで見たときに効果がありましたか。具体例があれば教えてください。

〈村田館長〉ステップアップ講座の効果は、こども未来創造館、西新井文化ホール、プラネタリウムという複合施設の中で、体験から何かをつかむ、継続的に行い、成果発表をするという繰り返しでステップアップしています。昨年に実施したものに関しては、4月に体験したものは、夏に発表をし、秋に体験したものに関しては、3月に発表をするというスタンスで繰り返し行っています。館内インタビューをして、それを記事にしたり、人前で発表させる、それができる環境がここには整っています。がんばるウォールやホワイトあとリエのようなスペースも、人が集まるスペースなので、そのような場所でも成果発表をしています。先日2回目の大ひょうげんという事業をやって、6日間ワークショップをやって、最終日に舞台に立つという、体験、継続、成果発表という3ステップを繰り返し行い、3年後に子どもたちだけで行う、こども総会を集大成と考えています。子どもたちが主体的に自分たちの意見を言えるような仕組みづくりを中心に考えています。我々が感じている、すぐわかる効果は、こどもが手を挙げるのが楽しくなったという感想はいただいております。1回受けた方がリピートして継続していただいている方が多いということは、保護者の方たちも望んでいることなのかなと感じております。学校ではできないような、インプットやアウトプットを繰り返しできるような事業を意識しています。

〈渡辺委員〉大ひょうげんは素晴らしいと思

いますが、今年もありますか。

〈村田館長〉大ひょうげんは、7月22日から28日に実施し終了しました。最終日の発表日はホールで行い、観客は、保護者の方や当日の来館者の方です。

〈渡辺委員〉皆さんに広く来ていただくための呼びかけ、広報活動はしていますか。

〈村田館長〉ホームページや広報紙などで周知を行っています。興味のある方は見に来てくださいと伝えています。

〈渡辺委員〉何人くらいの参加者がいましたか。

〈村田館長〉480名くらいです。ホールの1階が埋まるような感じです。

〈渡辺委員〉1年目に参加された子は、2年目にも参加されていますか。

〈村田館長〉中にはいらっしゃいます。同じことをやっている子もいますし、違う種目をやっている子もいます。

〈渡辺委員〉ステップアップを考えるのであれば、1年目にやったものについて、さらに高度なものを2年目でできるという仕組みはありますか。

〈村田館長〉そういう仕組みもあります。基本コースやその上のコースといったような中学生もできる仕組みもあります。決定まではいってないですが、ジャパンフェスタで発表枠を作り、成果発表させてあげたいと考えています。

〈宮田委員〉よろしいでしょうか。指定管理者ヒアリングを終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

#### 【指定管理者退出】

#### 【評価点決定・意見交換】

〈宮田委員〉それでは、評価点の議論に移りたいと思います。これより各項目についての評価点の決定及び意見交換を行います。チェックシートに沿って項目ごとに評価点を決定していきます。チェックシートの中では評価しきれないものもあるとは思いますが、コメント、意見の記入がありますので、意見を出していただいて、まとめて記入できればと思います。

〈宮田委員〉それでは、1-Aの適切な管理の履行の項目に関して、議論をしていきたいと思います。1の(2)と(3)、2の(1)と(3)の項目のところで、指定管理者の自己評価と区の評価が異なっています。このあたりを中心に議論できればと思います。ご意見がある方お願いします。

〈酒井委員〉1の(3)の項目で、職員のドレスコードについてクレームありで担当課からの評価になるのは厳しいと思います。区民の声が15件あるとダメなのかと感じます。

〈宮田委員〉この件に関して、15件という区民の声は、昨年と比べていかがでしょうか。

〈事務局〉昨年は数件、今年は十数件と多くなりました。地域学習センターと比べても多いです。内容は「接客が雑」「誰に声をかけていいかわからなくなった」「服装がわからない」「職員かどうかわからない」というも



のです。

〈伊志嶺委員〉以前は苦情シートみたいなものもありましたよね。その時からすると少し多い印象ですね。子どもを連れてきたときは良い対応をしてもらいました。いろいろなことがあって接遇が良くなったかもしれませんね。

〈宮田委員〉（3）の項目について、区評価の判断が厳しいすぎると思いますので、〇に変更しまして、2点に変わり、4点でいかがでしょうか。

〈宮田委員〉2の「職員の勤務状況・体制が適切である」に関して、いかがでしょうか。

〈酒井委員〉先ほど質問させていただいたのですが、人手不足について、余裕のない体制を取られているのかなという印象を受けました。何か新しいものをやるにしても、人手不足を理由にしては、とても勤務状況が適切とは思えません。水準通りにはつけられないのではないのでしょうか。

〈渡辺委員〉昨日案内していただいたときや今日見に行った時に、デジタルキャンバスのところで、子供たちが理解できていませんでした。保護者の方が来ても理解できず、結局時間切れになってしまったということがありました。面白いコンテンツで、誰かいれば、説明ができるのもったいないと感じました。人員をまんべんなく配置できれば良いと思います。

〈伊志嶺委員〉私も同じこと思いました。中学生くらいになれば何とかできると思います。

〈宮田委員〉区で指摘されていることよりも大きいレベルの問題だと思います。全体的にリソースが足りていないです。何とか運営するので精一杯な状況だと思います。区の担当課と同じ評価ですかね。

〈宮田委員〉3の「人材育成の取り組み」に関して、いかがでしょうか。区の評価では水準通りということですが。

〈酒井委員〉区のモニタリング通りで良いのではないのでしょうか。人員を増やせないなら人材を育てて欲しいです。

〈宮田委員〉1は4点、2は2点、3は6点ということでもよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉1-Bの安全性の確保の項目に関して、1の「施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している」に関して、いかがでしょうか。項目にはありませんが、事故事例の管理に不安があります。

〈酒井委員〉指定管理者に責任があるかないかで判断しているのかが問題だと思います。利用者にとっては事故が起きたら、指定管理者の責任かどうかは関係ないです。

〈宮田委員〉施設・設備の点検や不具合等に対応については、水準通りということでもよろしいでしょうか。

〈酒井委員〉2の「施設・設備の経年劣化に対応している」に関して、5点ついた理由は何でしょうか。

〈事務局〉区で、経過年数とおいっている設備

で基準を設けています。改修後や新しい施設であれば管理しやすいと思います。ギャラクシティにつきましては、基準点4点となり、2点分加点されています。指定管理者の管理というよりも、自動的に加点されます。

〈宮田委員〉3の「利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている」に関して、いかがでしょうか。特に問題はなさそうですね。

〈宮田委員〉4の「危機管理が適切に行われている」に関して、いかがでしょうか。（7）がどのくらいクリティカルな問題だったかにもよりますが。

〈酒井委員〉昨日の話聞いて、（2）（3）について改善の余地がありそうですが。

〈宮田委員〉（3）の未然防止に関しては、改善してほしいです。事故に対して、リソースを増やし、もっと未然に対応してほしいと思います。

〈宮田委員〉それでは1は3点、2は5点、3は3点、4は2点ということでしょうか。

〈酒井委員〉こどもは予想外のことをするから、叱ったという対応は残念です。ヒヤリハットを含めたマニュアル対応をするなど研修はしてほしいと思います。

〈伊志嶺委員〉クライミングに関して、こどもは降りたくなりますよね。

〈宮田委員〉1-Cの法令等の遵守の項目に

関して、いかがでしょうか。全体的に水準通り通りでよろしいでしょうか。何か点数について、コメントがある方はいらっしゃいますか。

〈渡辺委員〉本質ではないですが、他施設での波及という加点項目は厳しいのではないのでしょうか。

〈宮田委員〉1-Dの適切な財務・財産管理の項目に関して、いかがでしょうか。（1）の項目で×がついていますが。

〈酒井委員〉去年の状況はどうでしたか。

〈事務局〉昨年度は赤字ではなかったです。

〈北村委員〉対策が明確だと良いのですが。

〈酒井委員〉評価委員記入欄に、早急に適切な対応と取り組みを求めるとコメントですね。

〈宮田委員〉それでは、2の事業効果の項目に関して、議論をしていきたいと思います。Aのこども未来創造館事業の取り組みの1の「利用促進に向けた取り組み」についてですが、（2）の項目が自己評価と区のモニタリングで異なる評価がついていますが、いかがでしょうか。

〈渡辺委員〉ホームページの改善も今年からということなので、×ですね。

〈酒井委員〉有料講座を無料と書いて、何かトラブルはありましたか。

〈事務局〉苦情等、特にトラブルはありません

んでした。こちらで事前に気づいて、電話確認して分かりました。指定管理者は気づいていなかったです。確認がおろそかでした。チェック体制をしっかりとっておけば良かったと思います。

〈宮田委員〉（１）について、ホームページの件もしばらく放置されるということは大きな問題だと思います。○ではなくて×ですかね。チェック項目が１点、加点項目が２点で、合計３点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉次は２の「遊び・創作・科学体験事業」ですが、いかがでしょうか。チェック項目（４）に×がついていますが。チェック項目が１点、加点項目が２点で、合計３点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉次は３の「運動系体験事業」ですが、いかがでしょうか。チェック項目が１点、加点項目が１点で、合計２点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉次は４の「幼児・親子向け事業、子育てサロン事業及び一時預かり事業」ですが、いかがでしょうか。（６）の５ヵ年計画のところは×になっています。

〈渡辺委員〉リソースが割けずに後回しになってしまったのですね。

〈宮田委員〉特に小さいお子さんがいる事業になると、満足度が他と比べて、低いのも気になりますね。他に意見がないようでしたら、チェック項目が２点、加点項目が０点で、合計２点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉次は５の「まるちたいけんド

ム活用事業」です。（４）の５ヵ年計画のところは×になっています。加点項目では利用者の満足度の項目で○になっています。チェック項目が２点、加点項目が１点で、合計３点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉次は６の「アウトリーチプログラム事業」です。（２）の５ヵ年計画のところは×になっています。加点項目では年間事業計画を上回る回数、利用者の満足度の項目で○になっています。チェック項目が２点、加点項目が２点で、合計４点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉次は７の「開発事業」です。（３）の５ヵ年計画のところは×になっています。チェック項目が２点、加点項目が０点で、合計２点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉次は８の「ふれあい交流事業」です。チェック項目が３点、加点項目が１点で、合計４点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉次は９の「大人体験事業」です。（２）の５ヵ年計画のところは×になっています。

〈伊志嶺委員〉成果が見られません。あまり入っていないところに大人体験事業を入れたら良いのではないのでしょうか。

〈宮田委員〉点数を変えずに、コメントをして改善を求めましょう。チェック項目が２点、加点項目が２点で、合計４点でよろしいでしょうか。

〈宮田委員〉Ａのこども未来創造館事業の取り組みについての点数の確認です。１は３点、

2は3点、3は2点、4は2点、5は3点、6は4点、7は2点、8は4点、9は4点ということでしょうか。担当課と比べると1の項目が3点に下がっています。

〈宮田委員〉2-Bの西新井文化ホール事業及び利用者支援の取り組みの項目に関して、1の「文化交流の場となる環境づくり」です。チェック項目が3点、加点項目が1点で、合計4点となっています。ご意見はありますか。

〈宮田委員〉2の「区民応援型事業の実現」です。チェック項目が1点、加点項目が0点で、合計1点となっています。よろしいでしょうか。

〈宮田委員〉3の「エンターテインメント型ホールとしての興行事業の実施」です。チェック項目が3点、加点項目が2点で、合計5点となっています。よろしいでしょうか。

〈伊志嶺委員〉このアンケートのフォーマットは指定管理者さん作成のアンケートですか。

〈事務局〉はい。

〈宮田委員〉内容も見せてもらえると、判断材料になりますね。反対意見が多いのも気になる。この基準では5点ということになりますね。

〈宮田委員〉4の「エンターテインメント型ホールとしての興行事業の成果」です。動員率の項目が×ですが、実績が書かれていません。

〈酒井委員〉達成できていないから、指定管理者があげてきていないということですか。

〈事務局〉達成できていないのは間違いないですね。

〈宮田委員〉数字を出しておかないと、来年比較するとき困ってしまうと思います。この項目はチェック項目が2点、加点項目が1点で、合計3点となっています。よろしいでしょうか。

〈宮田委員〉Bの西新井文化ホール事業及び利用者支援の取り組みについての点数の確認です。1は4点、2は1点、3は5点、4は3点ということでしょうか。記述すべき内容としてはどうでしょうか。

〈酒井委員〉昨日やりとりで、文化ホールについてどのように運営していくか、基本的な部分で経験が足りていないのではないかと、いうことを話していましたが、いかがでしょうか。

〈伊志嶺委員〉ビジョンとミッションをもう少し明確にするべきだと思います。西新井文化ホールの特色をもっと出すべきです。広報戦略をきちんと立て直したほうが良いと思います。クラシックコンサートがいつも苦戦していて、特に初めての方に向けたクラシックコンサートに苦戦しているので、どうやったら集客を増やせるかと戦略が立てられるのではないのでしょうか。アウトリーチで小学校に出張するとか、広報期間にゆとりを持つとかいろいろ考えられると思います。指定管理者がたてた企画ではなく、貸し館として受けたものを共催としている可能性もあるので、その場合は広報としての期間は短くなっ

てしまいます。「大ひょうげん」の見せ方、コンテンツの出し方は良いと思います。西新井文化ホールの恒例行事になっていると思います。

〈宮田委員〉2-Cの利用の状況の項目に関して、1の「利用状況が基準を達している」について、チェック項目が3点、加点項目が0点で、合計3点という評価になっていますが、いかがでしょうか。

〈宮田委員〉2-Dの利用者の満足度の項目に関して、1の「利用者のアンケート結果」について、いかがでしょうか。

〈伊志嶺委員〉情報紙を読んだことがないという回答が多いが、情報紙はどのようなものですか。

〈事務局〉「ギャラクシティNEWS」と「イベント情報」というものになります。

〈伊志嶺委員〉インターネットで見ているという方が多いのですか。

〈事務局〉インターネットの検索数はかなり増えています。紙媒体は届きにくいです。イベント情報については全校生徒分、夏休み前に、小学校に配布しているので、お子さんにも届いているはずですが。区外が多いのも理由になっています。

〈宮田委員〉点数としては、このままでよろしいですか。コメントがあればお願いします。全体の特記事項について、何かありますか。

〈伊志嶺委員〉区内の利用者を増やすため

に、区内の方を優先にするという話があったような気がします。

〈宮田委員〉人手やお金の面で苦勞されています。

〈酒井委員〉いろんな開発をするので費用がかかるというお話が出てきたり、施設の老朽化についてなどの区のフォローについてはどうなっていますか。

〈濱田課長〉設備全体については区でフォローしています。コンテンツ作りなど中身に関してはお任せしています。

〈酒井委員〉開発したものに関しては、区のものになりますか。

〈濱田課長〉区で指定したものでなければ、事業者のものになります。

〈宮田委員〉5ヵ年計画の箇所でネガティブな評価が多かったので、2年目に入り、3年目にこども総会みたいなものをやることになっていますが、そこにリソースを今後割くことができますかね。

〈酒井委員〉当分赤字が続きそうですね。経営改善は1年2年ではできないので、今のこのやり方のままでは5年間、赤字の可能性がありますよね。

〈渡辺委員〉アンケートが気になります。どの年齢、区内の方、区外の方にも対応できるものになってしまっているので、回答される方はなんだろうこれと誤ってしまいます。子どもを連れてきているお母さんに対して、どう成長しましたかという質問をしてもおかし

いのではないのでしょうか。子どもを連れてきているお母様に対してのアンケート、体験した子どもに対してのアンケートなど細かく作れると声が反映されるので良いのではないかと思います。

〈宮田委員〉それでは、休憩後に評価点の確定とまとめを行いたいと思います。

#### 【休憩】

#### 【評価点確定】事務局より点数報告

〈宮田委員〉評価点に関して、疑義等ございますでしょうか。ではこれで評価点は確定したいと思います。これから20分程度評価についてご議論いただければと思います。

#### 【次年度の評価について】

〈酒井委員〉昨年と比べて、検討する資料が少なかったと思います。これを繰り返し評価していて、指定管理者は向上するのか、また数字の評価だと数字に走ってしまうのではないかと思います。

〈宮田委員〉利用者側から見たときにどういう館なのか、とても良いが高いから○で良いのか、裁量があったほうが、誤った方向にいかないのかなと思います。

〈酒井委員〉アンケートは基本項目を考えて、アンケートの調査対象の特性に合わせて、バリエーションをそろえるということなので、アンケートはすぐに改善できると思います。

〈宮田委員〉2日間の評価委員会の日程の期間についてはどうですか。

〈伊志嶺委員〉指定管理者さんのヒアリングについて目玉のものだけをお話ししてもらった感じではありますが、チェックシートに沿って、すべての項目について、説明じっくりしてほしいと思います。例えば、ステップアップ講習に来てくれた子どもが、後にボランティアとして手伝いに来てくれるといった循環が生まれた等、データに表れない情報も大切だと思うので、ヒアリングの時点で入れてもらえると思うと思います。評価シートに入れるのは難しいですかね。

〈渡辺委員〉見せたいところをプレゼンしてくれたことは良かったです。できれば、あらかじめ質問をあげて回答してもらえるような仕組みにしてもらえればどうかなと思います。

〈宮田委員〉やり取りする時間が短かったので、指定管理者さんも残念であったのではないかと思います。

〈酒井委員〉時間もなかったですもんね。

〈宮田委員〉ありがとうございました。では以上で評価点及び意見交換を終了いたします。今後の流れを事務局からお話させていただきます。

#### 【事務局より今後の流れの説明】

〈宮田委員〉以上をもちまして、足立区ギャラクシティの平成30年度運営にかかる、第2回運営評価委員会を閉会いたします。

#### 【閉会】